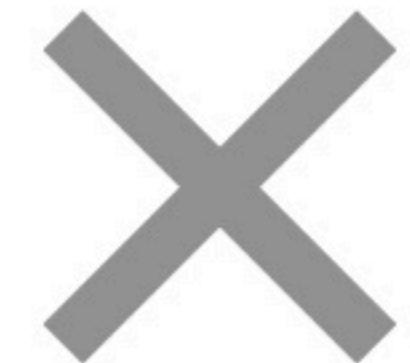




むすんで、うみだす。

京都産業大学

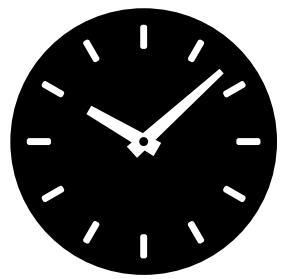


ベリタスアカデミー

01

京都産業大学
一般選抜入試問題の
傾向

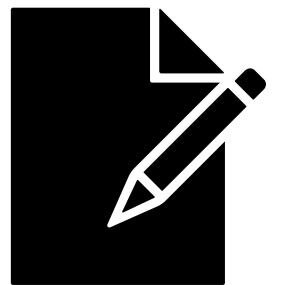
国語の試験時間と配点



試験時間

.....

80 分



配点

.....

100 点

一般選抜入試の問題構成

全問マーク式

	(一)	(二)	(三)
出題内容	評論文	小説文・隨筆文	古文
設問数	8～9問	9問	6～7問
配点	40点	35点	25点
解答時間 目安	30分	25分	20分

* 2科目型では、(一)、(二)の大問2問構成

02

京都産業大学
一般選抜入試問題の
対策

POINT

リーディング（理由づけ）を意識！

「なぜその答えになるのか」を本文からの根拠で説明できるように。正当探しは犯人探し。なんとなく感覚で選ぶではなく、本文中の証拠＝根拠となる文を探す練習をする。

↓必ず証拠を見つけてから解答する！

〔二〕 評論文

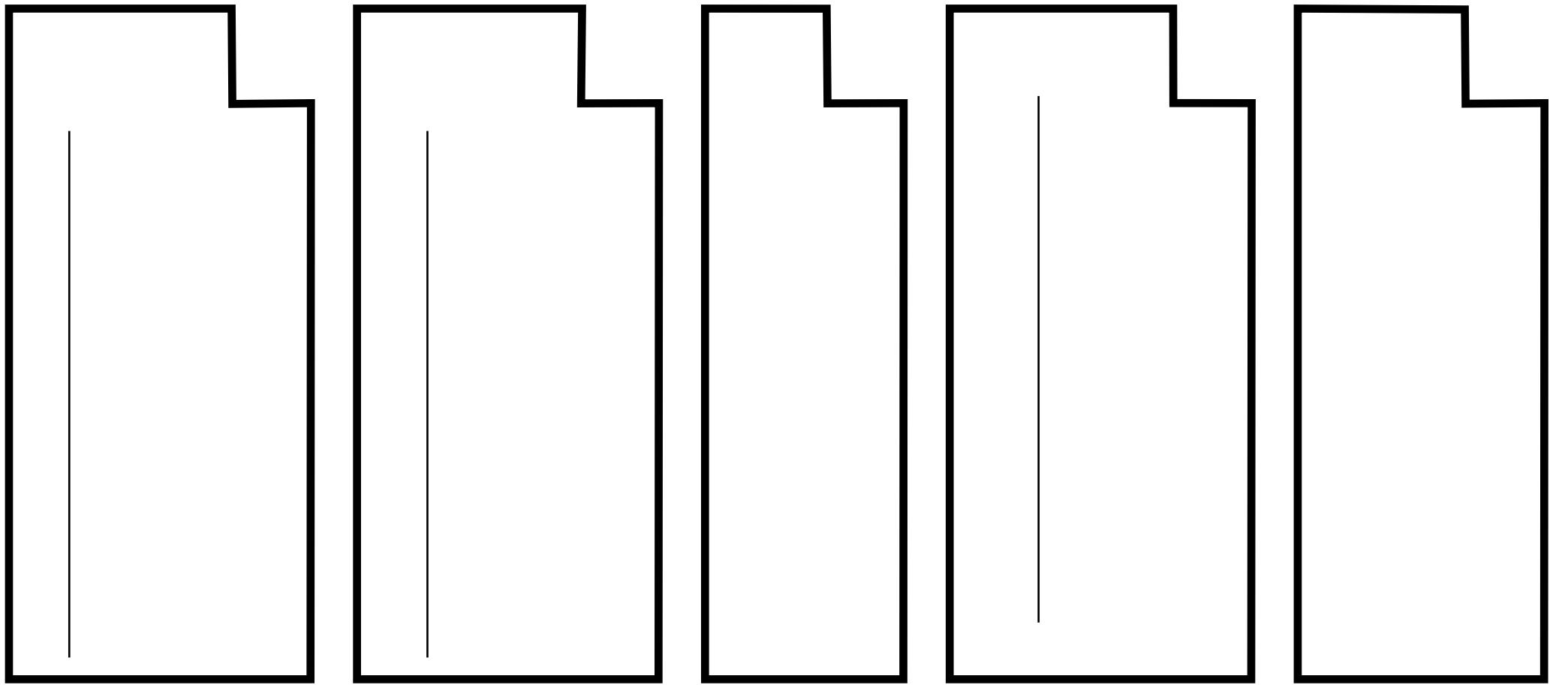
評論文では、本文全体を完璧に理解するよりも、設問に必要な部分を正確に読み取る力が求められる。本文接続語などの論理標識に注目し、主張や因果関係を整理して読むことが重要。選択肢は感覚で選ばず、本文中の根拠をもとに判断する「リーズニング」が得点の鍵となる。漢字や評論用語といった知識もしつかりと身につけておく必要がある。

POINT

論展開のカタマリを見抜く！

評論文は、筆者の思考の流れ＝論展開（論理の進み方）で構成されている。

その中で、文章全体をいくつかの意味のブロック（段落群）に分けて読むことが大切。本文を最初から最後まで同じ調子で読むのではなく、「どこで話題が変わったか」を見極めること。



POINT

論理標識（接続語）に注意する！

評論文は「論理」でつながっています。

「だから」「しかし」「たとえば」「つまり」などの接続語＝論理標識を意識して読むことで、筆者の思考の流れが見えてきます。

◆

「しかし」「ところが」→反対・逆接。筆者の主張が現れる直前に多い。

「つまり」「要するに」→まとめ。重要な結論が来る。

「たとえば」→具体例。前の文の説明や補強。

「したがって」「ゆえに」→結論。

読む「ツ」：接続語を見つけたら、その前後の文を「因果・対比・具体例・結論」のどれかに分類して読んでみよう。

POINT

パラフレーズを意識する！

パラフレーズとは、「同じ内容を別の言葉で言い換えること」。

現代文では筆者の主張が一度たりの表現で書かれることはほとんどなく、文中で繰り返し・対比・反転を使って多面的に説明されます。

つまり、設問を解くためには「言い換え表現＝同じ意味の再提示」を正確に見抜くことが欠かせません。

（一）次の文章を読んで、後の問い合わせに答へよ。

私たちにとつて非常に大事なのは、自然であるか不自然であるかとの価値判断です。これは、正義や真偽というのとは少し違つてゐます。なにが自然かと考へてみましょう。

かつて「あなたが最も自然だと思ひ風景を選びなさい」というあるアンケートで、圧倒的に一位に選ばれたのが、秋に水田の稻穂が実つていれば垂れて秋風に穂波が揺れていの風景です。

どう考へてもこれは自然ではありません。田圃のそのような状態は、徹底的に人間の手が入つて初めて可能だからです。でもそれも日本社会では、自然、なんですね。

自然というのも決定的な自然なるものがどこかにあって、それを自然だと考えなければならない、という意識とは違つた所に私たちの感性や知性はあると思います。それを無理やり壊していく必要はないのです。それはわつたいな話で、われわれの社会のものの方の中でも、^A不自然だからちよつとやめにおきたいという判断は、大事な判断だと思つてゐます。

たとえば、生命科学のさまざまな分野で人間の欲望が^(一)ヒューマン化してゐるのを見たと、日本人の社会の中にある常識と、ちよつと高い言葉でいえば良識、それも私たちの社会を動かしてゆく大切な要素なので、それを正義とか真偽とかいう言葉で捻じ曲げてしま^(二)とは、不自然なことにはちがいありません。

この一〇一〇年五月に、WHOの年次総会は海外に渡航して臓器の提供を受け^(一)とを自粛するよう各國に求める新たな指針を承認しました。

いま、国際的には、日本の病氣の子どもが国外の「資源=移植の臓器」をお金を出して買つてゐる事態がみえています。そのこと自体は、生命倫理の特定の倫理観だけに限つて議論できない問題です。

国際社会の中で日本の立場をどうするか、とうつまつたく別の解釈を必要とする問題だからです。そういうところまで視野に入れないと、問題の落としどころを見出すこと^(二)できません。

だから生命倫理というのをせまい原理の世界に限つてしまつて、そこから狭い範囲の中で、正論を引き出したとしても、その正論を一〇〇パーセント貫けるかどうかについては、まさに政治的な解釈が必要になつてきます。^Bそういうものを醜い妥協と考えるかといえば、私は、日本人は必ずしもそれを醜い解決策とは思つてこなかつたのだろ^(一)、と思ひます。

話が先走りす^(二)めたので、多少は原理的問題に戻しましょう。

生命倫理の問題が起つてきたのは、決してそんなに古^(一)い話ではありません。

もちろん、医療倫理^(二)になれば、^(三)ギリシア時代から、「^(注一)ヒポクラテスの誓い」など、医療者の倫理という問題意識は常にあつたわけです。しかし、私たちが今直面してゐる生命倫理の問題は、^(三)伝統的なシヨク⁽²⁾に關わる倫理とは意味合いが違います。議論しなければならない、いや、議論だけではなくて早急に決断を下す必要を突きつけられた課題です。

言つまでもなく、現在の生命倫理の問題が展開される背景には、科学技術の急速な発展がありました。かつては、生物学、生理学、医学などと呼ばれていた諸領域が、今では「ハイテク・サイエンス（生命科学）」といつ言葉で括るしかないほど広範囲かつ複雑にかかわりあい、進化しました。けれど、そこにおける倫理観^(一)のものを、科学者たち自身は必ずしもひとつとした現実感覚の中で感じてゐるとはいえないので、

それは、科学者共同体が一般社会と隔絶しながら科学を進展させてきた^(一)と、関係していると私は思います。今日、生命科学にのぞんでも、科学者が自らのうちに見出す倫理観^(一)のものは、ギリシア時代の「ヒポクラテスの誓い」と同じく仲間内の行動規範にすぎないのかもしません。科学者自身も社会の側も、当たり前のようにして、^(二)この状況を歴史の中でもぐく自然に受け入れていたところに、綻び^(一)といつ言葉が適切かどうかわかりませんが、それが生まれてきた。そのもつとも顕著な部分の一つが、生命科学の展開に伴つてあからさまになつてきました、^(三)倫理的・法的・社会的問題^(一)と謂われる問題です。

私は、ここで、かなり大きな歴史的な転換が起つてゐるよ^(二)うに思ひます。

科学化された社会に「^(一)公共的課題」といふべきものが生まれてゐる。たとえば、^(注二)ESの細胞や臓器移植、生殖医療の研究や実験に際して、生命をどうとらえるのか、^(二)で何をやつてよく、何をやつてはいけないのかという問題が、従来のような科学的な判断ではなく、公共的な判断として、答を迫つてゐるとも言えます。

（二）次の文章を読んで、後の問い合わせよ。

私たちにとって非常に大事なのは、自然であるか不自然であるかという価値判断です。これは、正義や真偽というのとは少し違っています。なにが自然かと考えてみましょ。

かつて「あなたが最も自然だと思う風景を選びなさい」というあるアンケートで、圧倒的に一位に選ばれたのが、秋に水田の稻穂が実つてこうべを垂れて秋風に穂波が揺れている風景です。

どう考へてもこれは自然ではありません。田圃たんばのそのような状態は、徹底的に人間の手が入つて初めて可能だからです。でもそれも日本社会では、自然、なんですね。

自然というのも決定的な自然なるものがどこにあって、それを自然だと考えなければならぬ、という意識とは違つた所に私たちの感性や知性はあると思います。それを無理やり壊していく必要はないのです。それはもつたない話で、われわれの社会のものの決め方の中で、A不自然だからちよつとやめておいたいという判断は、大事な判断だと思つています。

たとえば、生命科学のさもざもな分野で人間の欲望が（一）ビダイ化しているのを見たとき、日本人の社会の中にある常識と、ちよつと高い言葉でいえば良識、それも私たちの社会を動かしてゆく大切な要素なので、それを正義とか真偽とかいう言葉で捻じ曲げていくことは、不自然なことにはちがいありません。

問二 傍線部A 「不自然だからちよつとやめておきたいところ判断」とせどのよつたものか。最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 理屈や知識だけで結論を出すのではなく、社会の中でも育まれた感覚や常識も重んじながらゆめよつとこつ判断。
- 2 社会になじまないことが多いため、自然の整理に反することには従わないと考えてやめるとこつ判断。
- 3 人間社会は自然と密接に結びついているため、自然を損なうよつなことは極力避けておこなうとこつ判断。
- 4 正義や眞偽に強い懷疑を抱き、自然にそつていると感じられる覺識や良識に照らし合わせてやめよつとこつ判断。

問二 傍線部A 「不自然だからちよつとやめておいたい」と「判断」とはどういうなものか。最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 理屈や知識だけで結論を出すのではなく、社会の中でも育まれた感覚や常識も重んじながらやめよつと「判断」。
- 2 社会になじまないことが多いため、自然の摂理に反することには従わないと考えてやめるとこ「判断」。
- 3 人間社会は自然と密接に結びついているため、自然を損なうようなことは極力避けておこなうとこ「判断」。
- 4 正義や真偽に強い懷疑を抱き、自然にそつといふと感じられる覺識や良識に照らし合わせてやめよつと「判断」。

問一 傍線部 (1)～(3) の片仮名の部分と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選び、マークせよ。

(1) ハ[ダ]イ

1 ヒクツな態度をとる

2 草でタイ[ヒ]を作る

3 ヒルイなき存在

4 仕事でヒ[ヘ]イある

問一 傍線部 (1) ~ (3) の片仮名の部分と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選び、マークせよ。

(1) ヒダイ **肥**大

1 ヒクツな態度をとる **卑屈**

2 草でタイヒを作る **堆肥**

3 ヒルイなき存在 **比類**

4 仕事でヒヘイする **疲弊**

この二〇二〇年五月に、WTOの年次総会は海外に渡航して臓器の提供を歓迎するにと自粛するように各国に求める新たな指針を承認しました。

いま、国際的には、日本の病気の子どもが国外の“資源＝移植の臓器”をお金を出して買つている事態がみえています。そのこと 자체は、生命倫理の特定の倫理観だけに限つて議論できない問題です。国際社会の中で日本の立場をどうあるか、というまつたく別の解釈を必要とする問題だからです。そういうところまで視野に入れないと、問題の落としどころを見出すことはできません。

だから生命倫理というのをせまら原理の世界に限つてしまつて、そこから狭い範囲の中で、正論を引き出したとしても、その正論を100パーセント貫けるかどうかについては、まさに政治的な解釈が必要になつてきます。Bもういうものを醜い妥協と考えるかといえば、私は、日本人は必ずしもそれを醜い解決策とは思つてこなかつたのだろう、と思います。

問三 傍線部B 「そういうもの」を説明したものとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 統治者が恣意的に判断したことでも社会にとつて必要なことであるならそれを結論として受け入れていく姿勢。
- 2 政党同士の駆け引きの末に得られた結論を、正論からずれていたとしても民意の反映として受け入れる姿勢。
- 3 社会が抱える事情や利害関係なども踏まえながら、原理的にはつじつまが合わないことでもそれを結論とする姿勢。
- 4 国際社会で評価を得ていくため、不公正な政策であつても解釈を工夫することで見栄えをよくしていくことのある姿勢。

問三 傍線部B 「そういうもの」を説明したものとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

1 統治者が恣意的に判断したことでも社会にとつて必要なことであるならそれを結論として受け入れていく姿勢。

2 政党同士の駆け引きの末に得られた結論を、正論からずれていたとしても民意の反映として受け入れる姿勢。

3 **3** 社会が抱える事情や利害関係なども踏まえながら、原理的にはつじつまが合わないことでもそれを結論とする姿勢。

4 国際社会で評価を得ていただくため、不公正な政策であつても解釈を工夫することで見栄えをよくしていくことのある姿勢。

〔二〕 小説文・隨筆文

小説文は感情を想像で読むのではなく、本文中の描写やセリフなどの根拠から人物の心情を読み取ることが大切。心情の変化や対比に注目し、表現の意図を考えることで設問に正確に対応できる。

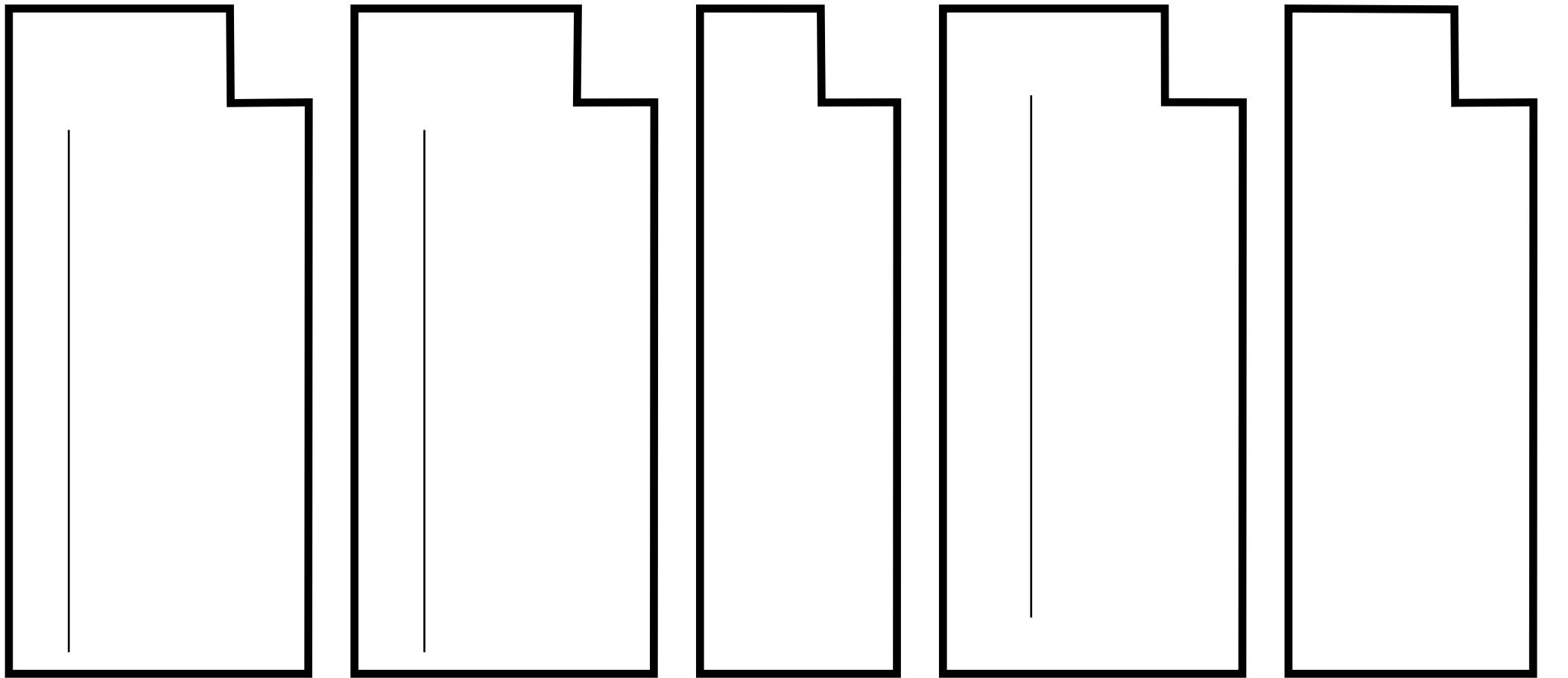
また、隨筆文は、筆者の体験や感想の中にある「考え方の核」をつかむことが重要。感情的な語りに流されず、主張・比喩・引用の意図を整理して読むことで、設問の根拠を的確に見つけ出せる。

POINT

場面のカタマリを見抜く！

小説文では、物語を細かく読むよりも、どこで場面が変わるかをつかむことが大切。時間・場所・登場人物が変化すると場面が変化します。場面が変わると、登場人物の心情・関係・状況が変化し始めます。

こうした「場面のカタマリ」を意識して読むと、心情変化の流れが掴めます。



POINT

心情の流れをとらえる！

小説文では、登場人物の感情をそのまま書かず、行動や描写・セリフを通して間接的に表すことが多い。

だからこそ、「どうしてその気持ちになつたのか」「その後どう行動したのか」という前後の流れを追うことの大切。

登場人物の感情は、次のような因果の連鎖で動く。

原因（出来事）

思考・判断

心情

行動（表出）

(二) 次の文章を読んで、後の問い合わせに答へよ。

半年ほど前、母の心臓の調子のよくなかったことがあった。発作性頻脈といつて、一時的に脈搏が一百を越すのである。直接生命に別状はないといふものの、本人もまわりも不安になり検査入院といつてになった。この大晦日で満七十歳になる母は(ア)患災な人で、お産以外は寝込んだことがない。入院は生れて初めての体験である。一ヶ月ほどで退院出来るから心配ないとこゝに思はせたのだが、死出の旅路にでかける覚悟で出かけたらしかった。

入院して一、三日は、まるでお祭り騒ぎであった。夜になると十日程のありつけを握つて廊下の公衆電話から今日一日の報告をするのである。

三度三度の食事の心配をしないで暮すのがいかに極楽であるか。献立がいかに老人の好みと栄養を考えて作られているか。(注一)看護婦さんがいかに行き届いてやるか。テレビのリポーターも顔まけの生き生きとした報告であった。△無理をして自分を励ましてもねえのがあった。

三日田あたりから、報告は急激に威勢が悪く、時間も短くなつてやめた。四日田からはその電話もなくなつた。

追い込みにかかりついた仕事に区切りをつけ、私が一週間田に見舞つた時、母はひとまわりも小さくなつた顔で、ベッドに坐つていた。この日は、よれにかたづけた妹もおじえて姉弟四人の顔が揃つたのだが、辛いのは帰りざわであった。

私が弟の腕時計に田を走りせ、

「ではそろそろ」

ところおうかなとためらつてみると、一瞬早く母が先手を打つのである。

「△わあ、お母さんも横にならなくちゃ」

晴れやかな声でこゝとと思い切りよく立ち上がり、見舞いにもりつた花や果物の分配を始める。押し問

答の末、結局私達は持つてきました見舞いの包みより大きい戦利品を持たされて追つ払われるのである。

「見舞いの来ない患者もいるのに、このやつにかわいがられたんじやお母さんもが悪いから当

分はこないでおくれ」

と演説をしながら、一番小さな母が四人の先頭に立つて廊下を歩いてゆく。

「□ X □」

ぐどいほど念を押しHレベーターに私達を押しつぶすと、△△のしおりざわこ、

「有難うございました」

今までのやぐわいな口調とは別人のように改まつて、△△パートの一階にごゆHレベーターガールさ

ながらの深々としたお辞儀をするのである。

ストレッチャーをのせる病院の大型エレベーターは両方から△△アガしまる。寝巻の上に妹の手編の挽茶色の肩掛けをかけて、白くなつた頭を下げる母の姿は、△△更にもうひと回り小さくみえた。私は、△△開のボタンを押してもう一度声をかけたいといつ衝動を辛うじて押えた。

四人の姉弟は黙つて七階から一階までおりてやつた。弟がくぐもつた声で、ポンポンと鳴つた。

「たまんねえな」

末の妹が、

「いつもこゝなのよ」

といつ。妹は毎日世話に通い、弟は一日に一度ずつのかじているが、母は必ずエレベーターまで送つてきて、△△やつて頭を下げる。しかも弟にいわせると、「人数によつて角度が違う」とこゝのである。

「今日は全員揃つてたから一番丁寧だつたよ」

お母さんらしくやと私達は大笑いしながら、涙ぐんでこるお互いの顔を見なによつにして駐車場へ歩いていった。

母の改まつたお辞儀はこれが一度田である。

（二）次の文章を読んで、後の問い合わせよ。

半年ほど前、母の心臓の調子のよくないうじことがあつた。発作性頻脈といつて、一時的に脈搏が二百を越すのである。直接生命に別状はないといふもの、本人もまわりも不安になり検査入院ということになつた。この大晦日^{おおみそか}で満七十歳になる母は（ア）息災な人で、お産以外は寝込んだことがない。入院は生れて初めての体験である。一ヶ月ほどで退院出来るから心配ないといつてきかせたのだが、死出の旅路にでかける覚悟で出かけたらしかつた。

入院して一、二日は、まるでお祭り騒ぎであつた。夜になると十円玉のありつたけを握つて廊下の公衆電話から今日一日の報告をするのである。

三度三度の食事の心配をしないで暮すのがいかに極楽であるか。献立がいかに老人の好みと栄養を考えて作られているか。（注1）看護婦さんがいかに行き届いてやさしいか。テレビのリポーターも顔までの生き生きとした報告であつた。A無理をして自分を励ましていようとこうがあつた。

三日目あたりから、報告は急激に威勢が悪く、時間も短くなってきた。四日目からはその電話もなくなつた。

問一 傍線部 (ア)～(ウ)の本文中の意味として最も適切なものを作り、一つずつ選び、マークせよ。

(ア) 息災な

1 病気をしない

2 忙しい

3 活動的な

4 運の強い

問一 傍線部 (ア)～(ウ)の本文中の意味として最も適切なものを作り、一つずつ選び、マークせよ。

- (ア) 息災な
1 病気をしない
2 忙しい
3 活動的な
4 運の強い

問二 傍線部A 「無理をして自分を励ましていると
ころがあつた」とはどういうことか。最も適切なも
のを一つ選び、マークせよ。

1 病気や入院に強いストレスを感じている母が、
入院の不満を子供たちに打ち明けることで、不
安や恐怖感を和らげようとしているように思え
たということ。

2 元々前向きで強い意志を持つている母が、これ
まで健康で活発に生活してきた習慣や性格が入
院中でも現れて、辛いときでもその姿勢を保と
うとしているように思えたということ。

3 長年健康に過ごしてきた母が、家族に弱ってい
る姿を見せて、心配をかけたくないという気持
ちから、元気に振る舞おうとしているように思
えたということ。

4 病気や入院という新しい現実に適応する過程で
一時的に無理をして元気に振る舞うことで、新
しい状況に少しづつ慣れようとしているように
思えたということ。

問二 傍線部A 「無理をして自分を励ましていると
ころがあつた」とはどういうことか。最も適切なも
のを一つ選び、マークせよ。

1 病気や入院に強いストレスを感じている母が、
入院の不満を子供たちに打ち明けることで、不
安や恐怖感を和らげようとしているように思え
たということ。

2 元々前向きで強い意志を持つている母が、これ
まで健康で活発に生活してきた習慣や性格が入
院中でも現れて、辛いときでもその姿勢を保と
うとしているように思えたということ。

3 長年健康に過ごしてきた母が、家族に弱ってい
る姿を見せて、心配をかけたくないという気持
ちから、元気に振る舞おうとしているように思
えたということ。

4 病気や入院という新しい現実に適応する過程で
一時的に無理をして元気に振る舞うことで、新
しい状況に少しづつ慣れようとしているように
思えたということ。

追い込みにかかっていた仕事に区切りをつけ、私が一週間目に見舞った時、母はひとまわりも小さくなつた顔で、ベッドに坐つていた。この日は、よそにかたづいている妹もまじえて姉弟四人の顔が揃つたのだが、辛いのは帰りざわであった。

私が弟の腕時計に日を走らせ、

「ではそろそろ」

といおうかなとためらつてみると、一瞬早く母が先手を打つのである。

「Bさん、お母さんも横にならなくちゃ」

晴れやかな声でいうと思い切りよく立ち上り、見舞いにもらつた花や果物の分配を始める。押し問答の末、結局私達は持ってきた見舞いの包みより大きい戦利品を持たされて追つ払われるのである。

問三 傍線部B 「たあ、お母さんも横にならなくちや」とあるが、このとある母の気持ちを説明したものとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

1 自分の病状や入院していることを申し訳なく感じている母は、子供たちが帰ると言ひ出せないのを察して、彼らの心理的な負担を軽くしたいと思つてゐる。

2 子供たちも仕事があり忙しい時間を縫つてお見舞いに来ているので、長時間の付き添いに申し訳なさを感じ、面倒なことを言われる前にこちらの都合で帰つてもううように仕向けてたいと思つてゐる。

3 入院中といふこともあり、体調が良くない状態が続いているため、長時間の会話や付き添いに疲れを感じ、早く帰つてほし」と思つてゐる。

4 家事や仕事を抱えている子供たちを気遣いながらも、母親として病人扱いされていることが我慢ならず、早く帰つてほし」という気持ちになつてゐる。

- 問三 傍線部B 「たあ、お母さんも横にならなくちや」とあるが、このとある母の気持ちを説明したものとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。
- 1 **自分の病状や入院していることを申し訳なく感じている母は、子供たちが帰ると言ひ出せないのを察して、彼らの心理的な負担を軽くしたいと思つてゐる。**
- 2 子供たちも仕事があり忙しい時間を縫つてお見舞いに来ているので、長時間の付き添いに申し訳なさを感じ、面倒なことを言われる前にこちらの都合で帰つてもううように仕向けてたいと思つてゐる。
- 3 入院中といふこともあり、体調が良くない状態が続いているため、長時間の会話や付き添いに疲れを感じ、早く帰つてほし」と思つてゐる。
- 4 家事や仕事を抱えている子供たちを気遣いながらも、母親として病人扱いされていることが我慢ならず、早く帰つてほし」という気持ちになつてゐる。

〔三〕 古文

古文は、語彙や文法、敬語表現などの基礎知識をもとに、登場人物の立場や感情を正確に読み取ることが大切。背景となる文化や価値観を理解し、省略された主語や指示語の内容を補いながら筋を整理することで、設問の根拠を正しくつかねる。

単語力を固めよ！

POINT

- 古文単語は、現代語と共に通じている言葉もあるが、問題で狙われる重要な単語は似ている言葉でも意味がまったく違うことが多い。
- たとえば
- 「あはれ」 = しみじみとした情趣
(×かわいがい)
- 「いたぐり」 = むなしさ・無駄
(×悪ふざけ)
- 「すごい」 = もの寂しい
(×あぐい)
- 丸暗記するのではなく、単語帳の解説などを読み込んで記憶のツックを作つて繋げて理解していくのがおすすめ。

POINT

文法力を固める！

古文文法は本文を正しく理解するための手がかり。現代語と文法のルールが大きく違うため、文法知識がないと主語や、心情変化などが正しくつかめません。設問も文法事項をポイントとして解く問題も多くあります。

用言・助動詞・助詞・敬語法といった文法項目に何度も繰り返し取り組み、早期に文法力を確かなものにしておくことが重要です。

POINT

主語の省略や指示語が読解のカギ！

日本語は主語を省くことが多い、古文や現代文では特に「誰の行動・気持ちなのか」が書かれていません。

また、「これ」「それ」「こうした」などの指示語も、前後の文脈を読まないと意味があいまいになります。

この2つを正確につかむことが、読解の「論理のつながり」を理解する第一歩です。

主語の省略は、場面をしつかりとイメージしながら、動作・心情などから「誰が」を掴みます。敬語や接続助詞なども活用して、まずは「誰が」「どうした」のかという大きなあらすじを読み取っていきましょう。

(三) 次の文章は『今鏡』の一節である。後朱雀天皇は中宮^{なかう}姫子^{ひめこ}が亡くなつて悲しみに暮れる。読んで、後の問いに答へよ。

中宮去年よりいつしか~~ただならぬ~~なりせ給ひて、霜月の十三日^{じゅうさん}に、左大臣の高倉殿に出でさせ給へりしが、つまむ年四月一日、女御子生みたてまつりせ給ひて、またまつり続^{つづ}き、またの年も同じやうにまかり出でせ給ひて、丹波守行任の主の家にて、長曆三年八月十九日^{じゅうく}に、なほ女宮生みたてまつり給ひて、同じ一十八日に失せ給ひに。御年一十四。あれましくあはれなること限りなし。いと秋のあはれそひて、有明の月の影も心をいたましむる色、タベの露のしづきも涙を催すつまなるべし。

かくて、九月九日に内より、故中宮の御ために、七寺に御誦経せさせ給ふ。帝御服たてまつりて、(注1)廃朝とて、清涼殿の御簾おろし籠められ、日の御膳あるも、声たてて奏しながらすとせかず、よろづくしめりたるままこは、タベの膳をもあはれとながめさせ給ふ。秋の燈火かかげつべさせ給ひつゝぞ、心苦しき折節なりけるに、二十日^{じゅう}を解陣^{げぢん}とかいひて、よるつ例様にて、御殿の御簾などもおもえ上げりて、すこし晴るむかしきなりけれど、なほ御^{ナカ}しきは^くせかず見^むせさせ給ひ 甲。

神無月も過ぎぬれば、御忌末^{じみ}になりて、かの失せ給ひにして、御仏事あり。梢の色も、風のけしきも、思ひ知り顔なる様なり。紅払はぬ昔のあとも、法の庭とて、ことに清めいりるにつけても、折にふれてあはれ尽きせざりけり。

十一月の七日^{しち}、^①内には、はじめて政^{まこと}せをせ給ふ。南殿に出でるを給ひて、(注2)官奏^{くわい}などあるべし。

(注3)後一條院中宮に侍りける出雲の御と^{いふ}が、^②の^いに侍りし伊賀少将^{さむかた}がもとに、

いかばかり君嘆く^くりむ数なりぬ身だにしげれし秋のあはれをと詠めりける。(注4)秋の宮、うち続き秋失せをせ給へるに、ことりありて、思ひよりれけるも、あはれにこそ聞え侍りしか。

またの年の七月七日、関白殿に内より御消息ありて、
と詠ませ給ひて侍りけむといふ、ことかたじけなく、情おもへおせじましかる御事かなとつけたまほりしか。
^去年の今日別れし世もあひぬなりなどたゞひなきわが身なまひ

(三) 次の文章は『今鏡』の一節である。後朱雀天皇は中宮^{げんし}姫子が亡くなつて悲しみに暮れる。読んで、後の問いに答えよ。

中宮去年よりいつしか×ただなり^さならせ給ひ
て、霜月の十三日に、左の大臣の高倉殿に出でさせ
給へりしが、つゞきの年四月一日、女御子生みたてま
つりせ給ひて、またうち続^わり、またの年も回^{まわ}じやう
にまかり出でさせ給ひて、丹波守行任の主の家に
て、長暦二年八月十九日に、なほ女宮生みたてまつ
り給ひて、同じき一十八日に失せ給ひにき。御年二
十四。あわせしきあはれなること限りなし。いと秋
のあはれそひて、有明の月の影も心をいたましむる
色、タベの露のじげかも涙を催すつまなるべし。

- 問一 傍線部X～Zの現代語訳として最も適切なものをおそれぞれ一つずつ選び、マークせよ。
- × ただなりずなりせ給ひて
1 妊娠なさつて
2 病気になられて
3 嫉妬なさつて
4 物の怪に取り憑つかかれなさつて

問一 傍線部X～Zの現代語訳として最も適切なものをおそれぞれ一つずつ選び、マークせよ。

- X ただなりずなりせ給ひて
1 妊娠なさつて
2 病気になられて
3 嫉妬なさつて
4 物の怪に取り憑つかかれなさつて

かくて、九月九日に内より、故中宮の御ために、

七寺に御誦経せさせ給ふ。帝御服たてまつりて、(注

一) 廃朝とて、清涼殿の御簾おひし籠められ、日の御

膳まゐるも、声たてて奏しなどある」ともせば、よ

びづくしめりたるままには、タゞの膳をもあはれと

ながめさせ給ふ。秋の燈火かかげつゝさせ給ひつつ

ぞ、心苦しき折節なりけりに、二十日ぞ解陣げ
ぢんとかい

ひて、よびづ例様にて、御殿の御簾などもまき上げ

られ、すこし晴るぬけしめなりけれど、なほ御乙け

しきは尽つくせよせよ見えさせ給ひ 甲。

注1 天皇が天変・病氣・服喪などのために朝廷の
廢朝 政務を行わないこと

問一 傍線部X～Zの現代語訳として最も適切なものをおそれぞれ一つずつ選び、マークせよ。

Yしめり

1恨み嘆いて

2水に濡れてしまつて

3もの思いに沈んで

4戸を閉めきつて

乙けしき

1眺め

2考え

3様子

4天候

- 4 天候 3 様子 2 考え 1 眺め 0 けしき

- 1 恨み嘆いて
2 水に濡れてしまつて
3 もの思いに沈んで
4 戸を閉めきつて

問一 傍線部X～Zの現代語訳として最も適切なものをおそれぞれ一つずつ選び、マークせよ。

問二 空欄 甲に入る語として最も適切なものを一つ
選び、マークせよ。

1けり

2ける

3けれ

4けむ

- 1けり
2ける
3けれ
4けむ

問二 空欄 甲に入る語として最も適切なものを一つ
選び、マークせよ。

神無月も過ぎぬれば、御忌末いみになりて、かの失せ
給ひにし宮にて、御仏事あり。梢の色も、風のけし
きも、思ひ知り顔なる様なり。紅払はぬ昔のあと
も、法の庭とて、ことに清めらるにつけても、折
にふれてあはれ尽まつりせりやつかり。

十一月の七日なな、①内うちには、はじめて政せさせ
給ふ。南殿に出でぬをせ給ひて、(注2)官奏くわんそう
まつりどと
べし。

注2 太政官から天皇に政治に関する事を申し上官奏くわんそうげること。

②この宮に侍りし伊賀少将がもとこ、

いかばかり君嘆くらむ数ならぬ身だにしへれし

秋のあはれを

と詠めりける。(注4)秋の宮、うち続き秋失せさせ給

へるに、いとひうありて、思ひよられけるも、あは
れにこそ聞え侍りしか。

注3

後一条院中宮

藤原威子。後朱雀天皇の兄である後一条天皇
の中宮。

注4

秋の宮

中宮・皇后の異称。ここでは姫子・威子のこと。

(注3)後一条院中宮に侍りける出雲の御といふが、

問三 傍線部①、②が示す人物の組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 ①帝 ②後一条院中宮
- 2 ①関白殿 ②帝
- 3 ①後一条院中宮 ②出雲の御
- 4 ①帝 ②故中宮
- 5 ①関白殿 ②故中宮
- 6 ①後一条院中宮 ②関白殿

問三 傍線部①、②が示す人物の組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 ①帝 ②後一条院中宮
- 2 ①関白殿 ②帝
- 3 ①後一条院中宮 ②出雲の御
- 4 ①帝 ②故中宮
- 5 ①関白殿 ②故中宮
- 6 ①後一条院中宮 ②関白殿

またの年の七月七日、関白殿に内より御消息あり

て、

▲去年の今日別れし星もあひぬなりなどたぐひ

なきわが身なるりむ

と詠ませ給ひて侍りけむこれ、いとかたじけなく、

情おほくおはしましまする御事かなとつけたまはりし

か。

問四 傍線部Aの和歌「去年の今日別れし星もあひぬなりなどたぐひなきわが身なるらむ」を説明したものとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 去年の七夕に別れ別れになつた牽牛星けんぎゅうと織女星しづくじゅも、一年後の今日にはふたたび会つてゐる。それなのに、私は中宮と一度と会つことができなくてつらい、と帝が悲しみを述べてゐる。
- 2 去年の七夕に別れ別れになつた牽牛星と織女星も、一年後の今日は雨で会つことができなかつた。それと同じように、私も中宮と会つことができなくてつらい、と帝が悲しみを述べてゐる。
- 3 去年中宮と死別した私は、七夕の今日、牽牛星と織女星を眺めてゐる。それなのに、ここに中宮がいないのはどうしてだらう、と帝が悲しみつついぶかしんでいる。
- 4 去年中宮と死別した私と同じく、七夕の今日、牽牛星と織女星も雨で会つことができなかつた。夫婦の別れは、どうしてこんなに苦しいのだらう、と帝が悲しみつついぶかしんでいる。

問四 傍線部Aの和歌「去年の今日別れし星もあひぬなりなどたぐひなきわが身なるらむ」を説明したものとして最も適切なものを一つ選び、マークせよ。

- 1 去年の七夕に別れ別れになつた牽牛星と織女星けんぎゅうせい しょくじゅ
も、一年後の今日にはふたたび会つてゐる。それなのに、私は中宮と一度と会つことができなくてつらい、と帝が悲しみを述べてゐる。
- 2 去年の七夕に別れ別れになつた牽牛星と織女星けんぎゅうせい しょくじゅ
も、一年後の今日は雨で会つことができなかつた。それと同じように、私も中宮と会つことができなくてつらい、と帝が悲しみを述べてゐる。
- 3 去年中宮と死別した私は、七夕の今日、牽牛星と織女星を眺めてゐる。それなのに、ここに中宮がいないのはどうしてだらう、と帝が悲しみつついぶかしんでゐる。
- 4 去年中宮と死別した私と同じく、七夕の今日、牽牛星と織女星も雨で会つことができなかつた。夫婦の別れは、どうしてこんなに苦しいのだらう、と帝が悲しみつついぶかしんでゐる。